

第40回 小野市地域公共交通会議 議事録

と き：令和8年6月24日（水）

13時25分～15時40分

ところ：小野市役所5階 特別会議室

第40回 小野市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 令和8年6月24日（水）13時25分～15時40分

2. 場 所 小野市役所5階 特別会議室

3. 出席者 会 長 藤原 博之（小野市副市長）
監 事 井上 典之（小野市地域振興部道路河川課長）
委 員 栗原 岳志（神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官）
田中 厳光（兵庫県小野警察署署長）
⇒代理出席 紙田 夏樹（兵庫県小野警察署交通課長）
西村志真子（兵庫県北播磨県民局加東土木事務所所長補佐）
藤原 直和（小野市老人クラブ連合会副会長）
小林ふみこ（一般公募）
畑岡 孝弘（神姫バス(株)営業所長）
小幡 修司（神姫バス労働組合副執行委員長）
⇒代理出席 橋本 学（神姫バス労働組合執行委員）
加門 昭三（（一社）兵庫県タクシー協会地域交通委員会委員）
室谷 武彦（誠和運輸建設(株)代表取締役社長）
植木 武志（西日本旅客鉄道(株)西明石統括駅加古川線区長）
宮井 勇人（神戸電鉄(株)地域交通戦略部長）
大西 貴己（北条鉄道(株)鉄道部長）
藤本 寿希（小野市総合政策部長）
オブザーバー 小玉 嗣人（兵庫県土木部交通政策課副課長兼地域交通班長）
⇒代理出席 多田 彩華（兵庫県土木部交通政策課地域交通班主任）
事務局 吉田 学、船越 智史、藤原 麻紀
欠席者 監 事 岡嶋 正昭（小野市観光協会会長）
委 員 新屋敷昭一（（公社）兵庫県バス協会専務理事）

4. 内 容

(1) 開 会

(2) 協議事項

- ①令和7年度歳入歳出決算及び監査報告について
- ②令和8年度歳入歳出予算について
- ③「小野市地域公共交通計画」の評価について
- ④「小野市地域公共交通計画」に基づく令和8年度の事業計画について
- ⑤地域公共交通計画変更認定申請について
- ⑥地域公共交通計画認定申請について
- ⑦小野市乗合型オンデマンドタクシー事業の実証実験について

(3) 報告事項

- ①令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価について

(4) そ の 他

(5) 閉 会

(開 会)
事務局

それでは、開会にあたり、小野市地域公共交通会議の会長、小野市副市長藤原よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

会長

(開会のあいさつ)

地域の公共交通は、少子高齢化による利用者の減少、中東情勢による円安や物価高によるコスト増、働き方改革に起因する運転手不足という厳しい状況にあります。

平成16年に運行を開始した当市のらんらんバスは、昨年の利用者数が18万5000人で、前年度比で約1万人の減少となっており、今後も人口減に伴い利用者減が予想されます。

一方で、市の高齢化率は30%を超え、今後は40%に達する見込みであり、自力での移動が困難な市民が増える中、公共交通の維持が生活基盤を守る上で不可欠と考えます。

人手による運行からAI・DXを活用した省力化への移行を模索しており、2026年秋からは、一部DXを導入したデマンド型タクシーの試験運行を一部地域で開始予定です。

地域の公共交通を守るための政策に取り組んでいきたいと考えていますので、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

事務局

(配布資料の確認)

(出席者の自己紹介)

(欠席者の報告)

会長

それでは、ただ今から会議次第に沿って進行させていただきます。

まず、協議事項1 令和7年度歳入歳出決算について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(協議事項1_令和7年度歳入歳出決算について説明) 資料1

会長

続きまして、本日欠席の岡嶋監事に代わりまして、末廣監事から引継ぎました井上監事より、監査報告をお願いいたします。

監事

(監査報告)

会長

それでは、協議事項1についてお諮りいたします。

協議事項1について、ご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員

拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。
 協議事項 1 について、承認いたします。
 引き続き、協議事項 2 について事務局より説明願います。

事務局 (協議事項 2_令和 8 年度歳入歳出予算について説明) 資料 2

会長 それでは、協議事項2についてお諮りいたします。
承認いただける方は拍手をお願いいたします

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。

 それでは、協議事項２についても承認いたします。

 続きまして、協議事項３及び協議事項４について、事務局より説明願います。

事務局 (協議事項 3_「小野市地域公共交通計画」の評価について、協議事項 4_「小野市地域公共交通計画」に基づく令和 8 年度の事業計画について説明) 資料 3、資料 4

会長 協議事項 3 と 4 の説明でしたが、この項目が本日の会議の肝の部分となりますので、ご意見をいただければと思います。

先ほど、神戸電鉄小野駅でのパークアンドライド利用が増えたという説明がありましたが、これに連動して小野駅自体の利用者は増えているのでしょうか。

委員 あいにく小野駅の利用者数は本日手元にありませんので、正確な回答ではありませんが、パークアンドライドの増加とともに、鉄道利用者も若干の増だったかと思います。キャッシュレス決済のような利便性、サービスレベルの向上によって、今後の利用増も考えられると思います。

会長 ありがとうございます。
神戸電鉄全体の乗客数も増加したように聞いています。
他にございますか。

委員代理 「そよら小野」の開業に合わせた新バスロータリーの整備についてお聞きしたいのですが、図面は出ていますか。バスの運行に支障がないよう、バス停の上屋の高さや縁石の高さを設計していただけますか。

事務局 現在イオンリテール様と最終調整中ですが、図面については現時点でお示しできるものはございません。バスの運転のしやすさ、乗客の皆様の使いやすさを重視し、上屋や縁石の高さなど立体的安全性にも配慮して進めたいと思いますし、神姫バス様にも相談の上、調整させていただこうと思います。

委員代理 よろしく申し上げます。

委員 3点質問があります。
①らんらんバス利用者数の計数はドライバーがバス停毎に毎回確認されているのか。
②らんらんタクシーのヘビーユーザーの人数や利用回数はどのくらいか。
③「そよら小野」のロータリーの計画にタクシーは入っているのか。

事務局 お答えします。
①原則、ドライバーが乗と降を全てカウントしていますが、匠台ルートとスクールバスルートは月初1週間だけカウントし、そこから推計しています。
②月30回以上の利用者が3～5名、時々月100回を超える利用者が1名おられます。ヘビーユーザーは少数ながら、議会から上限設定の提案も出ていますが、現状は自己負担があるため上限設定は見送っています。
③「そよら小野」のタクシー乗り場ですが、バス停に隣接して、タクシー専用の乗降場所を2台分確保していただくよう調整しています。

会長 タクシー事業者さんから何かご意見はありますか。

委員 ・イオン小野店の旧店舗は待合機能が高かったのですが、新店舗でも屋根付きの待合所の設置など、利用者の利便性を損なわない設計をされるのか気になるところです。
・以前から申し上げていることだが、らんらんバスの運賃を、年齢や市内外で差別化し、また匠台の企業による負担などを見直し、増額するべきだと考えます。
・コンビニ等以外で、市内に大型車が駐車できるスペースを確保していただきたい。
・乗合型オンデマンドタクシーの実証運行については、これまでデマンドバスの運行が廃止となってきた経緯から考えても、行き先や時間帯

も不定期的な乗合運行が成り立つのかと疑問に思っていますし、目的がよくわかりません。

事務局

「そよら小野」のバスロータリーは、安全面を第一に考慮し、イオンリテール様と神姫バス様と協議を詰めた結果、以前のバス停と同じところに設置する予定です。3方を囲んだ屋根付きの約12㎡のバスシェルターの中に、3人掛けの椅子3台を設置する予定です。近くにカフェも入るため、待合機能は果たせると考えています。

次に、らんらんバス運賃の受益者負担についてですが、運行のための市の財政負担は少なくなく、将来的な運賃改定を検討しています。福祉目的の無料措置部分は維持しつつ、今後工業団地へのルートの充実を図るには匠台ルートの運賃引き上げ（200～300円）も視野に入れています。

委員

「そよら小野」のタクシー2台分の待機場所はどこに計画されていますか。

事務局

タクシーの待機場所は、バスシェルターに隣接した場所に確保し、そこでの乗車を考えています。

委員

荷物が多い帰路客のため、店舗入口を指定しての乗車など、柔軟な対応を認めていただけるでしょうか。

事務局

イオンリテール様との調整時に、市と事業者からの要望としてお伝えします。

会長

それでは、協議事項3、協議事項4についてお諮りいたします。
承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員

拍手 ⇒ 承認

会長

ありがとうございます。
協議事項3、4は承認といたします。
それでは、次の協議事項5 地域公共交通計画変更認定申請について、事務局から説明願います。

事務局

（協議事項5_地域公共交通計画変更認定申請について説明）資料5

会長

ただいま事務局から説明いたしましたが、神姫バスさんから補足説明

があればお願いします。

神姫バス(株) 車両の償却方法が変わったことに関しては、経営判断となりますので、
ご了承いただきたく存じます。

会長 これについて、ご意見や質問はございませんか。
それでは、協議事項5についてお諮りいたします。
ご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。
協議事項5については承認といたします。
次に、協議事項6の地域公共交通計画認定申請について、事務局から
お願いします。

事務局 (協議事項6_地域公共交通計画認定申請について説明) 資料6,7,8

会長 何かご意見や質問はございませんか。
それでは、協議事項6についてお諮りいたします。
ご承認いただける方は拍手をお願いします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。
協議事項6については承認といたします。
次に、協議事項7小野市乗合型オンデマンドタクシー事業の実証実験
について事務局からお願いします。

事務局 (協議事項7_小野市乗合型オンデマンドタクシー事業の実証実験に
ついて説明) 資料9

委員 少し補足等をさせていただきますと、国は、令和7年度からの3カ年、
交通空白対策として様々な補助メニューを用意しており、この乗合型オ
ンデマンドタクシーはその一つです。交通空白の定義は時間的・地形的
要因も含むものです。各自治体がその対策に取り組んでいるのですが、
今回は、導入ありきではなく、あくまで実証実験であり、地域への丁寧
な説明と利用促進が重要と考えますので、既存の交通に与える影響やあ
り方を、このような会議の中で既存事業者や地域住民と丁寧に協議し、

より良い取り組みにするために連携することが不可欠だと考えます。

高齢者だけでなく、子育て世代など多様な利用者のニーズへの対応が必要となりますし、今後の様々な担い手不足を意識した上で、将来の公共交通体系の最適化を検討していただきたいと思います。

会長 地域の足の選択肢を増やすために、これからの時代にフィットした交通体系を、将来を見据えて実証実験していきたいと考えていますので、皆様にはご理解ご協力いただくところが出てくると思います。

これについて、市民代表の委員さんから何かご意見やご質問はありませんか。

委員 質問すべき事項がわかりません。

委員 その「わからない」という生の声が重要で、利用者の不安を解消するため、マニュアルの整備と周知を徹底することが必要ですが、実際利用される市民が何がわからないかをはっきり伝えていただくのが大切です。

会長 今後徐々に地元への説明を行い、区域についても検討していきたいと思います。

他にご意見はありませんか

委員 ドライバー不足や地元の雇用課題、福祉輸送への支援や車両補助など、市の総合的な支援をお願いしたいと思います。

会長 貴重なご意見をありがとうございます。

委員 今回の乗合タクシーの実験が、タクシーのハードルを下げ、利用を少しでも促すことになればと思います。

会長 ありがとうございました。

それでは、協議事項7について、ご承認いただける方は拍手をお願いいたします。

各委員 拍手 ⇒ 承認

会長 ありがとうございます。

協議事項7については承認といたします。

続きまして、次第3 報告事項を事務局から説明させていただきます。

事務局 (報告事項 1 __令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価について説明) 資料 1 0

会長 事務局からの説明について、何かご質問やご意見はありますでしょうか。

ないようですので、次第 4 その他に移ります。

最後に、小野警察署より、自転車の青切符導入以降、現在どういう状況かを含めた交通関係の話をお願いできますか。

委員代理 まず、市内の高齢者ドライバーの人数は増加傾向にあり、市全体の人身事故件数に対する割合も増加傾向となっています。地域公共交通の利便性向上によって、免許返納しやすい環境づくりを進めていただきたいと思います。

また、令和 8 年 4 月 1 日に始まった自転車の交通反則切符制度については、5 月末時点で検挙数はゼロ、指導警告が約 2 0 0 件となっています。引き続き周知を強化していきますので、ご協力のほどお願いいたします。

会長 他に何かご意見はございますでしょうか。

それでは、長時間にわたってご審議いただき、また会議の円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございます。

以上で本日の議事を終了させていただきます。

司会進行を事務局へ返します。

事務局 ありがとうございます。

委員の皆様方、長時間にわたるご審議、そして貴重なご意見を賜りまして、誠にありがとうございました。

小野市の交通施策についてますます取り組んでまいりますので、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の会議を閉会させていただきます。

(閉 会)